

厚生労働省
東京労働局発表
平成29年8月25日

担 当	東京労働局労働基準部健康課
	課長 松田 健慈郎
	主任衛生専門官 関 憲生
	電話 03-3512-1616 FAX 03-3512-1560

病気の治療と仕事の両立のためのセミナーを開催します

～「病気になっても働きたい。」そんな働く人の気持ちを応援します～

東京労働局（局長：勝田 智明）は、病気の治療と仕事の両立支援のために取り組む関係機関16機関が参加する「東京地域両立支援推進チーム」を設置しています。

東京地域両立支援推進チームの活動として、企業の経営者や人事労務担当者、産業保健スタッフ等の皆様の参考となる情報等を提供するために、次のセミナーを開催します。

「平成29年度がん患者等雇用管理セミナー」

～病気の治療と仕事の両立支援のために～

平成29年9月13日（水） 13時30分～16時30分

女性就業支援センターホール（東京都港区芝5-35-3 4階）

定員200人（企業の人事担当者向け）

「病気の治療と仕事の両立支援セミナー」

第1回

平成29年9月29日（金） 13時30分～16時30分

日本教育会館 第一会議室（東京都千代田区一ツ橋2-6-2 8階）

定員300人

第2回

平成29年10月16日（月） 13時30分～16時30分

立川地方合同庁舎 共用会議室（東京都立川市緑町4-2）

定員180人

参考

東京地域両立支援推進チームの第1回の会議は、平成29年7月18日に行われました。

会議では、

(1) 地域版企業向け及び患者向けパンフレットの作成

東京地域の医療機関や、関係団体、行政等が連携して、相談窓口や支援の具体的な内容をまとめた労働者(患者)及び事業主向けリーフレットを作成すること

(2) 地域独自の周知・啓発のためのイベントの企画・開催

- ・ 9月から10月にかけて、東京地域で、両立支援のための周知・啓発のための「セミナー」を開催すること
- ・ 10月中に開催予定の「産業保健フォーラム」(別添)において、各事業場でメンタルヘルス対策とともに、両立支援の取り組み方法等について、周知啓発をすること

が合意されました。



東京地域両立支援推進チーム

1 設置目的

病気の治療と仕事の両立については、「働き方改革実行計画」（平成 29 年 3 月 28 日働き方改革実現会議決定）に盛り込まれ、①会社の意識改革と受入れ体制の整備、②トライアングル型支援などの推進、③労働者の健康確保のための産業医・産業保健機能の強化に取り組んでいくこととされている。

また、長期療養者の就職支援活動についても、これと一体として、取り組むことが効率的である。

これらの政府課題に対しては、国のみならず、地方自治体、医療機関、各種団体等関係する機関等がそれぞれの立場で推進することが求められるが、関係機関において情報を共有し、相互協力体制を構築することで、より効果的に推進することが期待できる。

さらに、病気の治療を受けている者にとっては、身近な相談先が不足していることから、病院や行政機関等の相談窓口などの増加・充実を図っていく必要がある。

そこで、東京労働局に東京地域における関係機関等が参集する「東京地域両立支援推進チーム」（以下、「チーム」という。）を設置し、積極的な連携を図ることとしている。

2 チーム参集機関等

「東京地域両立支援推進チーム」参集機関等は次のとおり。

- ・ 特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会
 - ・ 国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院
 - ・ 一般社団法人東京経営者協会
 - ・ 東京商工会議所(健康経営アドバイザー)
 - ・ 公益社団法人東京都医師会
 - ・ 一般社団法人東京都医療社会事業協会
 - ・ 東京都社会保険労務士会
 - ・ 東京都立駒込病院
 - ・ 特定非営利活動法人日本キャリア開発協会
 - ・ 一般社団法人日本産業カウンセラー協会東京支部
 - ・ 日本労働組合総連合東京都連合会
 - ・ 独立行政法人労働者健康安全機構 東京産業保健総合支援センター
 - ・ 独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院 治療就労両立支援センター
- (以上 50 音順)
- ・ 東京都
 - ・ 東京労働局（労働基準部、職業安定部、雇用環境・均等部）
 - ・ 飯田橋公共職業安定所(長期療養者就職支援事業実施安定所)